

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(20)番 福山市立加茂中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	考える・伝える・聴く力	見通す・振り返る力	社会性
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた生徒の姿)	多面的・多角的に考える →創造的・建設的に伝える →理解・納得・共感して聴く	自分で計画を立てたり、方法を予想したりする →価値を振り返る	集団生活における目的・目標達成、課題解決に向けて自分の役割を果たし、心からの笑顔を増やすことができる=貢献

2 授業の現状

(成果○ 課題△)○チョークの色遣いを統一した分かりやすい板書と、ノートづくり・指導の連鎖○めあて(学習課題)の工夫△じっくり考え・書かせるための課題設定△めあてに対応するまとめ・振り返りの時間確保・指導=50分を見通した効率的な構成・展開

転換

3 めざす授業の姿

- ①チャイムでスッキリ、スタート・フィニッシュする授業
- ②どうして・なるほど・できたの場がある授業
- ③学び方を学ぶ授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
各授業で、めあてに対応するまとめ・振り返りを書かせる指導を行う。書く時間を確保する。 授業で振り返りを書く生徒を90%にする。	各授業で、めあてに対応するまとめ・振り返りを行った。授業で振り返りを書けた生徒は、86%であった。振り返りを書く活動は行っているが、書かせる指導に偏りがちな教科も見受けられた。	各教員が「何のために振り返りをするか」を理解し、各授業で振り返りを書かせる。また、振り返りの視点を3つ示して、振り返りを書かせ、振り返りを書く生徒を90%にする。	授業で振り返りを書けた生徒は、86%だった。何のために振り返りをするか、定期的に研修を行ったが、教科によって、振り返りを書かせる頻度や意識付けに偏りがある。	振り返りを書くことを、更に各教科で生徒に意味づけし、授業で振り返りを書く生徒を90%にする。加えて、「振り返りが役に立った」と答える生徒を85%にし、振り返りの質の向上を図る。	振り返りを書けた生徒は89%だった。「振り返りが役に立った」と答えた生徒は、86%だった。 教科よっての偏りがあり、全教科で足並みを揃えて指導ができていない。

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	75(-1)	62(+1)
数学	68(+2)	45(-1)
理科	70(+3)	68(+3)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語		
数学		
理科		
英語		

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子)1年:2/8 2年:1/8 3年:3/8 (女子)1年:3/8 2年:2/8 3年:0/8	前回の目標値である男女とも「ハンドボール投げ」の県平均以上に、また女子の「反復横跳び」を県平均以上にする目標は達成できていない。	3年女子が県平均以上超えた項目がない。男子の県平均以上項目数が減っている。	授業の中での運動量を増やす。そのために、授業規律を徹底し、帯活動をスムーズに行い、活動時間を長くする。持久力において、マラソン大会を通じて向上を図り、再測定を行う。

目標値	男女とも県平均を越える項目を50%以上にする。
-----	-------------------------

「基礎・基本」定着状況調査〈生徒質問紙調査〉(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	38.8	44.9	32.7	45.9	20.4	36.4	16.3	27.6
学校が楽しい	84.7							

暴力行為発生率・不登校生徒出現率(%)

(2)月末現在

暴力行為	0.3%	不登校	3.8%
------	------	-----	------

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	6.7	40
仕事に充実感がある	6.7	33

児童生徒アンケート(%)

(2)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	91.6	6.2
自分の考えは、認められている	83.1	13.8